

中国地域産学官コラボレーションセンター

主要活動報告

＜平成23年度 活動計画＞

平成23年 7月 20日

中国地域産学官コラボレーション会議

（中国地域産学官コラボレーションセンター）

平成23年度 活動計画

1. 新結合プランの推進
2. 中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催
3. 中国地域国立5大学連携事業の推進
4. キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催
5. インテレクチャル・カフェの開催

1. 新結合プランの推進

【行動計画】

- コラボレーションセンターは、各機関の活動を促進するため、各機関の要望のもとに、広域的連携のための提案・相談・仲介の機能を有する「連携コーディネーターセンター」としての役割・位置づけを目指す。

目標と戦略を持った 連携グループ の形成・強化

- ・ 県域・地域における連携グループの形成・強化
(岡山県・山口県における連携組織の取り組みを参考にした他県・広域(山陰)等での連携組織形成など)
- ・ 同分野、業種内で横連携グループの形成・強化
(5国立大学連携や8高専連携等の学学連携推進や、自動車関連や環境分野での県域を越えた支援機関・企業の連携推進など)
- ・ 分野、業種を超えた連携グループの形成・強化
(医工連携など、新たな横断的連携の形成)

効率化とオープンイノベーションを目指した共用化と交流の促進

- ・ 連携拠点の整備や、研究施設・機器の共用化(共有化)推進
(地域産学官共同研究拠点整備事業や公設試の施設共用など)
- ・ 研究シーズ、知財のデータベース統合
(さんさんコンソによる域内大学のシーズデータベース統合やTLO連携による特許流通データベース構築など)
- ・ 機関が連携した交流の場の形成
(広島での5大学が主催するインテレクチャルカフェなど)

地域への求心力に つながる 発信力の強化

- ・ 大学、高専やTLO連合による展示商談会・シーズ発表会への共同出展
(金融機関のビジネスマッチングフェアや、首都圏での専門技術展示会に地域で一体となった出展をするなど)
- ・ 一般向け情報発信
(5国立大学シンポジウムや、産学官連携商品集など)
- ・ 国際産学官連携
(ニューヨークでのシーズ展示会をはじめ、諸外国での大学シーズ・知財の発表など)

2. 中国地域産学官コラボレーションシンポジウムの開催

地域イノベーション創出2011 in おかやま

【目的】 中国地域の産学官連携活動を加速することを目的に、関係機関の活動報告や情報・意見交換を行うため、毎年1回シンポジウムを開催する。

【日時】 平成23年 7月20日(水)

【場所】 おかやまコンベンションセンター(岡山市)

【主な内容(予定)】

- 開会挨拶
- 基調講演
- トークセッション～地域産学官共同研究拠点の目指すもの～
- 産学官連携の取組紹介
 - ・先導的事例の紹介
 - ・中国地域における産学官連携事例発表
- 交流会



3. 中国地域国立5大学連携事業の推進

【基本的な方針】

- ① 平成22年度の活動について一定の効果があつたことから、平成23年度も従来の推進方針に沿って継続実施する。
- ② 各大学において継続実施する事項について、実施方法等について必要に応じてブラッシュアップして事業を進める。
- ③ 昨年のコラボレーションシンポジウムにおいて5大学学長で確認された「24年度までの向こう3年間に実施する大学間連携事業により目指すべき連携事業の方向性」に留意し、積極的に連携事業を展開する。

【年間スケジュール】

- ・23年度事業の実施方針を提案・了承（2月23日5大学学長会議）
- ・23年度の新規取組テーマを含む年間実施計画表の作成（～5月末）
- ・23年度実施状況の取りまとめ（24年1月）
- ・第4回実務者会議の開催（24年2月）
- ・5大学学長会議へ実施状況報告，24年度の実施方針を提案（24年2～3月）

【具体的な取り組み計画(例)】

○ 中国地域国立5大学連携によるバイオマス意見交換会の開催

＜目的＞ 産業界・社会が抱える共通的な技術課題・ニーズについて、まず平成23年度は産・学・官・支援機関で構成するメンバーが自由に意見を交わす意見交換会を行い、平成24年度には次のステップとして課題解決のために「大学間連携による共同研究」につなげる取り組み

＜スケジュール＞

	内 容
第1回	・基調講演, 主査講演, 事務局からの連絡事項
第2回	・企業の共通課題・ニーズの紹介とそれに関する意見交換
第3回	・大学・研究機関からの企業のニーズを踏まえた共同研究の提案
第4回	・共同研究の具体化に向けた今後の取り組み方針等に関する取りまとめ

＜事務局＞ 中国経済産業局, 中国経済連合会

4. キャンパスベンチャーグランプリ中国の開催

第10回 キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国

【目的】 学生のビジネス・起業家精神を高揚し、創造性・チャレンジ精神に富む人材の育成を図る。

【運営体制】

＜主催＞ キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国実行委員会
【実行委員長】 山下 隆（中国経済連合会 会長）

＜共催＞ 中国経済連合会，中国地域産学官コラボレーション会議，中国四国産業人クラブ，日刊工業新聞社

【10周年記念シンポジウムの開催】

＜日時＞ 平成23年8月29日(月) 13:30～16:30

＜場所＞ 県立広島大学 広島キャンパス(広島市南区宇品東1丁目1-71)

＜定員＞ 150名(入場無料)

＜プログラム＞ 講演，トークセッションほか



2010 学生による新事業の提案コンテスト

キャンパスベンチャーグランプリ



5. インテレクチャル・カフェの開催

インテレクチャル・カフェ広島

【現状】

- 異業種交流の場として開催継続の要望が強い（アンケート結果）
- 参加者が特定のメンバーに固定される傾向がある
- 各大学の持ち回り開催という形式をとっているため、他大学からの参加が少なく、大学間の交流が十分ではない

【H23年度の実施方法】

- 「話題提供（1時間）＋交流会（1時間）」という実施方法は従来どおり
- 可能な限り複数大学の共催で実施する（8月，10月，12月目途）
- 話題提供のテーマを特定し，複数の大学からそのテーマに合致する話題を2～3件提供する

